

Xの罪責

- 1 不同意わいせつ致死罪（行為①） ..... 18
  - (1) 不同意わいせつ
    - ア 16歳未満の者
    - イ わいせつな行為
    - ウ 故意
      - ・ 錯誤
  - (2) 人を死亡させた
- 2 殺人未遂罪（行為②） ..... 18
  - (1) 実行行為
    - ・ 不能犯
  - (2) 故意
- 3 死体損壊罪（行為②） ..... 18
  - (1) 死体損壊
  - (2) 故意
    - ・ 抽象的事実の錯誤
- 4 傷害罪（行為③） ..... 7
  - (1) 人の身体の傷害
  - (2) 故意
- 5 自殺教唆罪（行為④） ..... 18
  - 人を教唆して自殺をさせた
    - ・ 自殺意思の有効性

← 誤信が故意の有無に影響するかを検討します（pp. 206-207）。

← 詳しく検討します（pp. 208-209）。

← 詳しく検討します（p. 210）。不能犯と抽象的事実の錯誤との関係については、p. 210 参照。

※ 自殺教唆罪の成立を否定した場合の答案構成です。

← 詳しく検討します（pp. 211-212）。自殺教唆罪と殺人罪の検討順序については、p. 211 参照。

6 殺人罪 ..... 18

(1) 実行行為

・被害者を利用した間接正犯

(2) 故意

7 罪数 ..... 3

← 詳しく検討します (pp. 212-213)。